

流域タイムラインについて

令和7年6月20日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

○流域タイムラインについて.....	1
--------------------	---

庄内川流域におけるTLの取り組み状況

■庄内川流域におけるTLの取り組み状況

➤ 避難情報着目型TL

12市町で策定済み。3市町が未策定。

※基本的には既存計画を時系列に並べ直したものであり、内容の精査や各自治体の庁内調整等は記載されていないことが多い。

➤ 多機関連携TL

名古屋市、多治見市の2自治体で策定。

□名古屋市のTL

- ・ 庄内川決壊対応タイムラインの検討を本省リーディングプロジェクトとして実施。
- ・ 検討段階において、名古屋駅前の地下空間の検討が必要であるとの意見から地下空間WGを設置し、「名古屋駅地区地下空間TL」を策定。

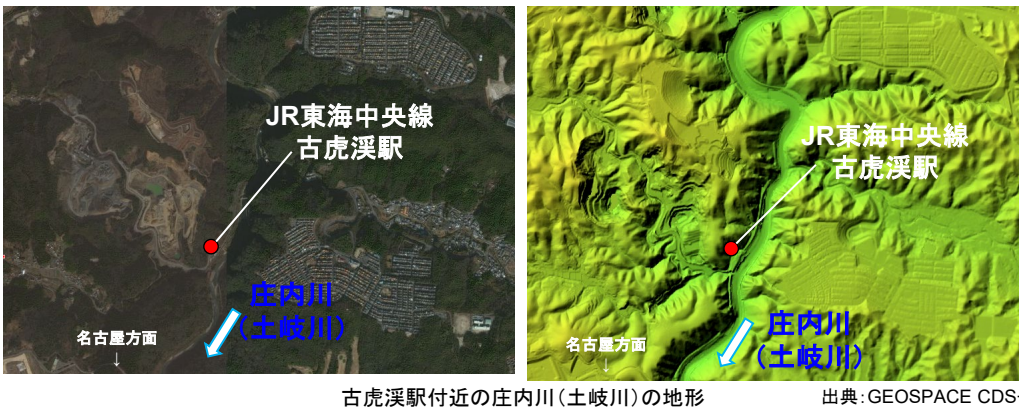
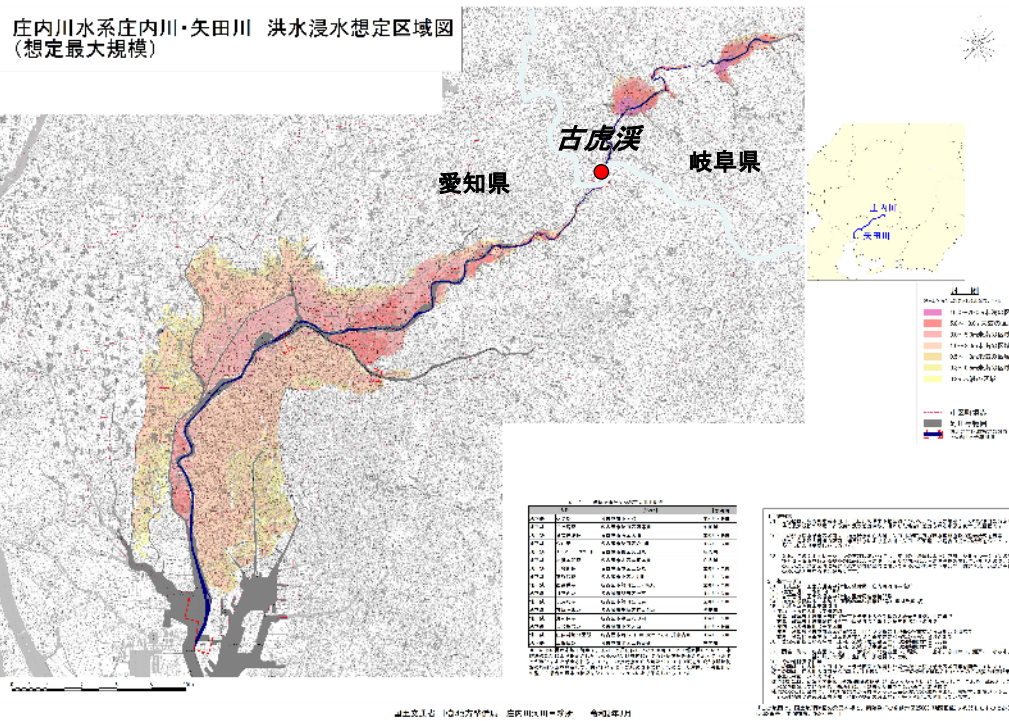
□多治見市のTL

- ・ 名古屋市におけるTL検討開始から少し遅れて検討を開始。
- ・ 全国的にもTL検討事例が少ない状態での取り組みであったため、対象地域を平和町に限定して検討(当初は策定後に試行し、その結果を受けて市全域に対象を広げるという考え方)
- ・ 市独自の取り組みとしてコミュニティタイムラインの策定を地道に継続(年1地区程度のペース)

庄内川流域におけるTLの取り組み状況

■庄内川流域TLの策定に向けた基本的な考え方(案)

- ✓ 庄内川流域TLの位置づけ(案)
 - ・ **市町を含めて危機感を共有**するための状況定義(流域行動段階・ステージ)を共通認識とする。
 - ・ **広域管理者(国・県・気象台等)の連携行動を整理**した行動計画。
 - ・ 基本的に個別市町村の行動は流域TLに含めず、個別自治体等の行動整理は各市町のTL内で対応する。
 - ・ 自治体間の連携(広域避難等)や特殊な個別対応事項がある場合には流域TLに記載。
 - ・ **愛知ブロックと岐阜ブロックに分割して検討**を進める(古虎溪を挟んで氾濫特性が異なるため※)
- ✓ 庄内川流域における整理(案)
 - ・ **広域管理者のためのTLとして整理**し、広域管理者の連携行動や自治体への支援行動を記載



※上流側の氾濫流は古虎溪周辺から定光寺(春日井市)周辺までの溪谷により収束して拡散しないと想定。ただし、溪谷沿い(左岸)の愛岐道路(県道15号線)の取り扱いには配慮。(愛岐道路は連続雨量150mmで通行規制の基準あり)